

功 績 概 要①

部門	氏 名 生年月日(年齢) 現 住 所	略 歴・業 績	功績概要
美術 陶芸	<small>たはら たかお</small> 田 原 崇 雄 S57.1.14(44) 長門市	1982年 十三代田原陶兵衛の長男として生まれる 2005年 東京藝術大学美術学部卒業制作展 菅原賞 2007年 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻 修了 2010年 美濃にて修行(豊場惺也先生に師事) 2011年 父の許、作陶に入る 2016年 日本伝統工芸展 入選(~9回) // 山口県美術展 優秀賞 2017年 京畿国際陶磁器ビエンナーレ2017 驪州 テーマ別展示 出品【韓国】 2018年 エッフェル塔茶会【パリ/フランス】同 2024 // リヨン市庁舎にて作品展示・講演【リ ヨン/フランス】 2019年 山口伝統工芸展 日本工芸会山口支部長賞 2020年 日本陶磁協会現代陶芸奨励賞中国・四国 展 奨励賞 2022年 法基陶磁国際公募展 大賞【韓国】 2023年 現在形の陶芸 萩大賞展 佳作 2025年 白き流れのままに 萩 田原崇雄展【緑 ヶ丘美術館/奈良】	萩焼の伝統を継承され ながら、素材や表現への 飽くなき探求を通じて、 独自の作風を確立し、日 本伝統工芸展などの公募 展で高い評価を得てき た。 また、創作活動のみな らず、展覧会やイベント の企画・運営を通じて萩 焼の魅力を広く発信し、 産地全体の振興に多大な る貢献をされている。 さらに、茶道を中心と した器と茶、空間が織り なす日本文化の精神性を 海外へ紹介するなど、国 際的な文化交流の推進に も取り組んでいる。

功 績 概 要②

部門	氏 名 生年月日(年齢) 現 住 所	略 歴・業 績	功績概要
美術 絵画	<p>きはら ちはる 木 原 千 春 S54. 5.24(47) 東京都(長門市出身)</p>	<p>1979年 山口県長門市(旧・大津郡三隅町)生まれ、 独学で絵画制作を開始</p> <p>1999年 ギャラリー伝(東京)にて初個展開催</p> <p>2006年 「VOCA展2006」(上野の森美術館、東京)参加</p> <p>2007年 「HEART2007」(山口県立美術館・山口県文化 連盟・山口県教育委員会企画、山口)参加</p> <p>2009年 第64回山口県美術展覧会 佳作 / 第13回 前橋アートコンペライヴ グランプリ</p> <p>2012年 ロイドワークスギャラリー(東京)にて個展 「Vitalism」シリーズ開始(以降毎年継続)</p> <p>2015年 平塚市美術館「ペコちゃん展」(神奈川) 参加 / アーツ前橋 パブリックコレクション 收藏</p> <p>2016年 BSフジ「ブレイク前夜～次世代の芸術家 たち～」出演(9月13日放送)</p> <p>2020年 星野リゾート 界 長門(山口)メインロビ ー作品制作(コミッションワーク)</p> <p>2022年 日本テレビ「THE ART HOUSE～そのアートは 100年後に残せるか～」出演(3月5日放送)</p> <p>2024年 Suomei M50 Gallery(上海)にて個展 「Vitalism 新生」開催 / 初の作品集 「Vitalism」刊行</p> <p>2025年 横浜そごう美術館「ブレイク前夜 in Yokohama」(神奈川)参加</p> <p>2026年 木原千春展「Vitalism STIR」日本橋三 越本店 本館6階 美術特選画廊(東京)に て作品数40余点による個展開催</p>	<p>山口県の風土に深く根 差し、独学により独自の 芸術世界を切り拓いてこ られた。</p> <p>不断の制作活動によ り、VOCA展への選出、全 国規模の公募展における グランプリ受賞など、数 々の輝かしい成果を収め られ、美術評論家からも 高い注目を集めている。</p> <p>また、「星野リゾート 界 長門」への作品設置 などを通じて、本県の芸 術的魅力を発信し、地域 文化の振興に大きく貢献 されている。</p>